

【開催報告】地域医療連携推進法人 信州松本ヘルスケアネットワーク

共同研修事業「車椅子移乗研修」を開催しました。

【研修概要】

日 時：2026年2月19日（木） 14:00～18:00

会 場：相澤シミュレーションセンター メインルーム

講 師：奥原 健史様（相澤病院 救急リハ科 主任）

参加人数：10名

内 容：【座学】【ベッドからの起き上がり】【車椅子への移乗動作】【車椅子操作】



2026年2月19日、地域医療連携推進法人「信州松本ヘルスケアネットワーク」として初となる共同研修を実施いたしました。記念すべき第1回目は、ケアの基本でありながら奥が深い「車椅子移乗」をテーマに、相澤シミュレーションセンターにて開催。参加法人の垣根を越えた10名の皆さんが、現場で役立つ技術を共に学びました。

<研修内容>

車椅子の操作の基本から移乗前のバイタル・顔色確認、ベッドの高さ調整など、安全の根幹を再確認。基本動作の再確認を実施しました。続けて、寝返りから座位保持、そして車椅子への移乗。一連の流れを介助者・患者の両役で体験することで、言葉だけでは伝わらない「安心感」と「不安感」の差を肌で感じました。

また、段差超えや横移動、そして移動中の「声がけ」の重要性など、現場ですぐに活かせるスキルを網羅しました。

参加者からは

実技を通じ、参加者からは多くの「発見」が寄せられました。

「患者役をやって初めて、声がけ一つでこんなに安心感が違うのだと驚きました。技術だけでなく、

心を通わせる介助を自施設でも共有したいです。」

「法人の違う仲間と一緒に練習することで、『あ、そのやり方がいいですね!』という新しい発見がありました。このネットワークの強みを感じます。」

「ベッドからの起き上がりのコツなど、自己流になっていた部分を修正できました。自信を持って現場に戻れます。」

など、有意義な研修であったと感想を頂きました。

この研修で身につけた技術を各現場で活かしていただくことはもちろん、今回生まれた「顔の見える繋がり」を大切に、今後も有意義な共同研修を企画してまいります。

